

検査項目		解 説
測定	BMI	BMIで太っているか痩せているかがわかります。BMI＝体重÷(身長m×身長m)
	腹囲	へそ周りを計測します。
	血圧	心臓が最大に収縮して血液が動脈に押し出されたときに血管壁にかかる圧力を収縮期血圧といいます。一方、心臓が拡張して、血管壁に戻ってきた血液を貯めこんでいるときに血管壁にかかる圧力を拡張期血圧といいます。
尿検査	尿蛋白	尿中のたんぱく質の量を調べます。
	尿糖	尿中の糖の量を調べます。
	尿潜血	尿に血液が混じっていないかを調べます。
血液一般	赤血球数	酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収する役割を担っています。多すぎれば多血症、少なすぎれば貧血が疑われます。
	白血球数	白血球は細菌などから体を守る働きをしています。数値が高い場合は細菌感染症、炎症、腫瘍の存在が疑われ、少ない場合は、ウィルス感染症、薬物アレルギー、再生不良性貧血などが疑われます。
	血色素量(ヘモグロビン)	赤血球に含まれるたんぱく質の一種で、酸素の運搬役を果たします。減少している場合、鉄欠乏性貧血などが考えられます。
	ヘマトクリット	血液全体に占める赤血球の割合を示し、数値が低ければ鉄欠乏性貧血などが疑われ、高ければ多血症、脱水などが考えられます。
	血小板数	出血した際止血の役割を果たしています。出血性の疾患等や骨髄での生産の低下等疑われます。
	MCV	赤血球の体積を表します。
	MCH	赤血球に含まれる血色素量を表します。
	MCHC	赤血球体積に対する血色素量の割合を示します。
血中脂質	中性脂肪	糖質がエネルギーとして脂肪に変化したものです。数値が高いと動脈硬化を進行させます。
	LDLコレステロール	悪玉コレステロールと呼ばれ、多すぎると血管壁に蓄積して動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性を高めます。
	HDLコレステロール	善玉コレステロールと呼ばれ、血液中の悪玉コレステロールを回収します。少ないと、動脈硬化の危険性が高くなります。
	総コレステロール	血液中のコレステロール値を表します。
糖代謝能	血糖値	血液中のブドウ糖濃度を表します。エネルギー源として全身に利用されます。測定された数値により、ブドウ糖がエネルギー源として適切に利用されているかがわかります。
	HbA1c	過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を表します。糖尿病のコントロールの状態がわかります。
肝機能	AST(GOT)	心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素です。
	ALT(GPT)	肝臓に多く存在する酵素です。
	γ-GTP	肝・胆道疾患の目安となる酵素です。肝臓や胆道に異常があると上昇します。
	ALP	肝臓や骨などに存在する酵素です。
	総蛋白	血液中の総たんぱくの量を表します。栄養状態や全身状態を知る指標となります。
	アルブミン	肝臓で合成されます。肝臓障害、栄養不足、ネフローゼ症候群などで減少します。
	総ビリルビン	直接ビリルビンと間接ビリルビンの総称で胆汁に多く存在しています。異常値の場合、肝臓障害・胆汁うっ滞・胆道の閉塞などが疑われます。
	LDH	諸臓器や組織の損傷を知ることができます。
	コリンエステラーゼ	肝臓のたんぱく合成能力を知ることができます。
	HBs抗原	B型肝炎ウィルスに感染していないかを調べます。
腎機能	HBs抗体	過去にB型肝炎ウィルスに感染していないかを調べます。
	尿素窒素	腎臓等諸臓器の機能の状態を知ることができます。高値の場合、腎機能障害や脱水、消化管出血等が疑われます。
	血清クレアチニン	アミノ酸が代謝されたあとの老廃物です。筋肉量が多いほどその量も多くなるため、基準範囲に男女差があります。高値の場合、腎臓の機能が低下していることを意味します。
	尿酸	たんぱく質の一種であるプリン体の代謝産物です。高い状態が続くと痛風が発症します。また、尿路結石も作られやすくなります。
	eGFR	クレアチニンより精度の高い腎臓機能の指標です。クレアチニン値を性別・年齢で補正して算出します。数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味します。
血清反応	CRP	細菌・ウィルスに感染する、がんなどにより組織の傷害がおきる、免疫反応障害などで炎症が発生したときなどに血液中に増加する急性反応物質です。
感覚器	聴力（オーディオ）	1000Hz（低音域）と4000Hz（高音域）の聴力を調べます。
	視力	裸眼もしくは矯正視力を調べます。
	眼圧	眼球の中は房水という液体によって圧力が保たれており、これを調べます。高い場合は高眼圧症、または緑内障の疑いがあります。
	眼底	目の奥の状態を調べる検査です。動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べます。
呼吸器	胸部X線	胸部に背後からX線を照射します。肺炎、肺結核、肺がん、肺気腫、胸水、気胸など、呼吸器の疾患の有無を調べます。
肺機能	%肺活量	年齢や性別から算出された予測肺活量(基準値)に対しての実測肺活量の比率を調べます。
	努力性肺活量	胸いっぱい息を吸い込み一気に吐き出した空気量を調べます。
	1秒量	努力性肺活量の内の最初の1秒間に吐き出された空気量を調べます。
	1秒率	努力性肺活量に対する1秒量の比率を調べます。
生理機能	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査です。電流の流れ具合に異常がないかがわかります。不整脈、心筋障害等を調べます。
消化器	上部消化管X線	造影剤のバリウム液を飲んで、食道から胃、十二指腸までをX線写真で映し出す検査です。
	上部消化管内視鏡	口または鼻から内視鏡を挿入し、食道から胃、十二指腸の内腔を観察します。
	便潜血	便に血が混じっているかどうかを調べます。
	腹部超音波	腹部皮膚表面部分に超音波を発信する装置をあてて、臓器を観察します。
前立腺検査	PSA	血液検査で行う前立腺腫瘍マーカー検査です。高値である場合、前立腺肥大、前立腺癌など前立腺疾患が疑われます。
婦人科	子宮細胞診	膣口から細い器具を挿入し、子宮頸部の粘膜から細胞を採取して、顕微鏡で調べます。
	経膣超音波	膣の中に超音波を発する細い筒状の器具を入れ、子宮・卵巣の状態等を調べます。
乳腺	乳腺超音波	乳房の病変を超音波をつかって調べます。
	マンモグラフィ	乳房の病変をX線（マンモグラフィ）をつかって調べます。